

マナーを守ろう

最近病院の投書箱などで、敷地内での喫煙や携帯電話の使用について苦情が寄せられます。皆さんが気持ちよく利用できるようマナーを守りましょう。

病院敷地内での禁煙について

駐車場などでの喫煙、たばこの吸い殻の投げ捨てがあります。タバコの害から人々を守ることは病院の責務と考えています。病院敷地内は全面禁煙となっていますのでご協力をお願いします。

携帯電話の使用について

病院内での携帯電話の使用については、一定の条件下で使用を許していますが、まだまだ決められた場所以外での携帯電話の使用が時々見られます。公共の場所での通話は迷惑になると同時に周辺の医療機器への影響を考えて決められた場所でのご使用をお願いします。

許可されている場所

- ・外来 中庭、建物の外
- ・各病棟 個室、デイルーム、公衆電話前

正月を迎える生け花を飾っていただきました



今年も病院玄関に新年を迎える生け花を町内の有志の方から飾っていただきました。



インフルエンザ

毎年冬になると流行する「インフルエンザ」は「かぜ」と間違われることも多いですが、「かぜ」よりも重症化しやすく、感染力も強いので、発症したらできるだけ早く受診することが大切です。

	インフルエンザ	かぜ
症状	発症後1～3日間 ・38℃以上の発熱 ・関節痛、筋肉痛、頭痛など全身症状 1～3日後以降 ・せき、のどの痛み、鼻汁など	・微熱 ・せき、のどの痛み、鼻汁など

生活の中でできる感染予防



- 外出時はマスクをつける



- 加湿器などで乾燥を防ぐ



- 流行時期は人混みを避ける



- 帰宅後手洗い、うがいを行う



- 十分に睡眠をとる



- 栄養バランスのよい食事をとる

など心がけることが大切です

咳エチケット

マナーの一環として「咳エチケット」が呼びかけられています。この「呼吸器衛生・咳エチケット」はインフルエンザにかかわらず呼吸器症状を伴う感染症の拡大を防止することを意味します。この対策は誰が行うのでしょうか。確りたくない人が行う予防策ではありません。インフルエンザや風邪症状のある人がとるべき対策なのです。これからインフルエンザが流行する時期でもあり、十分な感染対策が必要になります。他人に風邪を移さないためにマスクを付けることは大切ですが、他人のウィルスを吸い込まないためにもマスクは有効です。病院では患者さまが受診した時点より感染防御のためマスクを付けていただくようお願いしています。感染防御を徹底させるためにお持ちでない方は、総合受付、内科受付、小児科受付でマスクを有料(10円)で配付しますのでご利用下さい。